

佐田まちづくりだより

第157号



スマホでカラー版を
見ることが出来ます



三月一日、肌寒さを感じつつも快晴という最高の状況の下、年度の集大成であり、佐田地区最大のイベント「米神山巨石祭」が是永宇佐市長をはじめ沢山の来賓の出席と地区内外から約二〇〇名の参加者が見守る中、盛大に開催されました。

山の神の鎮魂と登山者の安全を祈願する神事が肅々と執り行われ、式典会場周辺には徐々にカメラを携えた人の数が増えてきます。

皆さんの目的は、二人の巫女による「浦安の舞」の奉納です。

動画で撮影する方や、シヤッター音をパシャパシャと響かせる方々、毎回特に人気のある「浦安の舞」。

作品展を開いてはどう？と思えるぐらい、素晴らしい写真が撮れたのではないのでしょうか。

第33回 米神山巨石祭



一二名の方による玉串奉奠、昇神の儀、一同拝礼の儀をもつて神事が終了し、引き続き式典へと移行し大隈信彦実行委員長の挨拶、是永修治宇佐市長、永松郁議長の代理で出席してくださいました多田羅純一宇佐市議会副議長より祝辞をいただきご来賓の紹介で滞りなく終了することが出来ました。

そして場所を佐田京石駐車場へと移し、アトラクションの始まり。

トップを務めるのは、佐田小六年生、先輩たちから引継がれてきた「キッズガイド」による現地案内。

みんなしつかりと発表できていました。四月には中学生となり、一段と成長することでしょう。期待!!

ここで司会者（紹介するのが遅くなりました。米神山巨石祭の司会と言えば、且尾の加藤友子さん、加藤

友子さんと言えば米神山巨石祭の司会者と言われるぐらい、すっかりお馴染みの名司会者）から、サプライズゲスト、大分トリニータの松本怜CROのコールがありました。

佐田地区の皆様には説明の必要はないと思えますが、今年度は大分トリニータと佐田まち協、佐田小がコラボして、田植えから収穫、販売、交流会と農業体験事業を展開しました。

巨石祭の場で体験発表することを松本CROに伝えるところ、是非応援したいという返事をいただき、完全オフにもかかわらず来場してくださいました。

CRO来場にテンションが上がった子供たち、これまた立派な発表でした。

そしてステージには約十箱の段ボール箱が上げられ、毎回のことながら、袋を片手に目をキラキラと輝かせる人たちがじりじりと前へ前へと詰めてきます。

その光景は殺気を帯び、

2024-3-10(日) 天候晴れ 来場約 200名 登山者数 39名(登山認定証配布)

背筋が凍りそうな怖さを覚えるくらいです。

って、ちよつと大げさだったかな？

いよいよ祝賀餅まきの始まりだ！

ステージには市長、副議長、教育長に来賓の方々、松本CROに加え、昨年に引き続き巫女の二方も上がってくれました。

餅は勿論、ン？もちはもち：まあいいか、餅は今年のコラボで獲れたトリニータ米!! 一俵半の紅白餅が天高く舞い上げられました。

約二千個の餅は瞬く間に空っぽに、袋ははちきれんばかりにパンパン、これから探訪登山に向かう人は、駐車場の片隅に餅入りの袋を置いて重量負担を軽減していました。

その代わり？に百花山草作のおにぎりをリュックに詰めて臨戦態勢完了。

そんなこんなで、相変わらずバタバタで、そわそわと落ち着かない状態で迎えた(私だけ?) 裏面へ

巨石祭ですが、やはり沢山の方々から協力いただき、支えていただいたお陰で、大盛況かつ成功裏に終えることが出来たと感謝の気持ちでいっぱいです。

裏方として支えて下さった方々の功績をここに紹介せずにはいられません。

二月十八日に実施した登山道整備、巨石祭実行委員だけでは手に負えず、山岳会所属の方とPTAの保護者と校長先生が従事してくださり、二五日には山蔵地区の有志の方がしめ縄を作ってくれました。

三月に入り、二日には区長会役員と民生委員の方が、幟や看板立て、同日米神山の京石側入り口の奥に架けてある橋が破損していたのを、急な要請にも関わらず架け替え作業に従事してくれた方、六日から当日まで餅加工やおにぎりづくりに勤しんで下さった百花草、九日は、会場周辺の清掃草刈りにハマってくれた、女性部や、実行委



松本 怜 CRO



キッズガイド・頼もしい6年生



是永市長



大隈実行委員長



トリニー田コラボ事業体験発表



会場を埋め尽くす大勢の人:大盛況:感謝



本当にありがとうございます。お疲れ様でした。一方で、何点かの課題も見つかりました。今後の開催に影響が及ぶことの無いよう、これから実行委員会でもよく反省検討し、来年度も盛大に開催できるように、皆様から協力が得られ、また笑顔で任務完遂を迎えられるようにしたいと思います。

員、交通用の看板を設置してくださった交通安全協会の方、当日も五名の方が交通誘導、シャトルバスの運行に力を貸してくださいました。
ポスターや登山認定証などは、松裏昂治協力隊員が自身の経験を活かしてセンス抜群のものを作ってくれ、当日は準備に撮影にと何役もこなしてくれました。
他にも沢山の方が支えてくださいました。
気の利かない事務局が笑って任務を終えることが出来たのは、こうした皆様のお蔭です。



登山道整備:475mの頂から。美しい、弁当もやっぱり美味しかった。



巨石祭当日の準備風景



前日は枯れた栗の木の伐採からスタート



橋の架け替え